ごあいさつ

長崎県では、将来を担うこどもたちの社会での多様な活躍を願い、こどもたちが安全・安心な環境で健やかに成長し、その能力と可能性を高めることを目的に、安心できるこども場所が身近にあり、こどもが笑顔で過ごしている長崎県の実現を目指しています。

近年、地域のつながりの希薄化や少子化、核家族化に加え、公園等の使い方や遊べる場所の制限等により外遊びの機会が減少するとともに、オンラインゲームや動画視聴を中心とした室内遊びが増加するなど、こどもたちの体験の機会が乏しくなっている現状があります。こどもたちの健やかな成長のためには、こども同士が集団で遊びに熱中し、時には葛藤しながら互いに影響し合って活動するなど、様々な体験の機会や居場所、人間関係などが必要不可欠ですが、昨今の社会的背景の変化など大人社会の事情が、こどもたちからそれらを奪ってしまっているのではないでしょうか。

本県では長年、ココロねっこ運動の推進等を通じて、大人みんなでこどもの心を育てようという気運の醸成に努めてまいりました。県内各地には、こどもたちを支えている、また、支えたいという方々が数多くいらっしゃいます。今こそ、こうした県民、団体、企業などの皆様と一緒になって、失われたこどもの居場所や体験の機会を取り戻し、充実させていく必要があると考えています。

「こども場所」とは、こどもたちが安心して過ごすことができ、また、やってみたいことを体験・挑戦できる場・環境・機会のことです。ご飯を食べたり、遊んだり、勉強を教えてもらうだけでなく、こども同士や大人など多様な世代と交流することで、「自分は皆から愛される存在なんだ」という「自己肯定感」や「社会を生き抜く力」を育む場となることも期待されています。さらに、こどもだけでなく、地域にとっても、様々な人々が交流する地域づくりの拠点としての役割を果たすことが期待されています。

このたび長崎県では、こども場所づくりにこれから取り組む方や、活動を広げようと考えている方に向けて、県内のさまざまな地域で行われている取組を集めた「こどもの居場所づくり事例集」を作成しました。今後も事例の追加・更新を行っていく予定です。

本事例集が、地域ならではのこども場所づくりや、活動継続の一助になることを願っています。

結びに、本事例集の作成にあたり、ご協力いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

令和7年2月

長崎県福祉保健部 こども政策局こども未来課長

contents

ごあいさつ …… 01

居場所づくり事例集に寄せて

一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき 事務局長　山本 倫子 …… 03

NPO法人 フリースクール クレイン・ハーバー 代表　中村　尊 …… 04

ながさき子ども食堂ネットワーク 事務局長・
もくもく食堂 代表　数山 有里 …… 05

国立諫早青少年自然の家 所長　蓮見 直子 …… 06

居場所づくり事例

GOKOU（長崎市） …… 07

放課後SUNKIDS（長崎市） …… 09

体験楽習クラブ さ～くる（長崎市） …… 11

フリースクール クレイン・ハーバー（長崎市） …… 13

つなぐ・つながるポレポレ（佐世保市） …… 15

まつなぎや（大村市） …… 17

みんなのまなびば み館（長与町） …… 19

みんな食堂（波佐見町） …… 21

自由楽校ゆめまある（川棚町） …… 23

地域を編む「女性たちのネットワーク」 子どもを守る
長崎ひまわりプロジェクト …… 25

区分について

居場所の活動をわかりやすくお伝えするために、9つの区分で表記しています。

※各団体の内容は、2025年１月時点の内容です。

アイコン説明

名称　開催場所　利用日時　利用料　対象
申し込み　実施団体　問合せ先　メール　開催予定
その他　ホームページ